

Nº 126

SEMANARIO DE SÃO PAULO

28 DE MARÇO - 1924

聖 マ リ ア 新 報

同志會へ檄文ニ就て

最初の時日は、司教同僚の嘆声である

おとづれの時日は、司教同僚の嘆声である

おとづれの時日は、司教同僚の嘆声である

おとづれの時日は、司教同僚の嘆声である

おとづれの時日は、司教同僚の嘆声である

おとづれの時日は、司教同僚の嘆声である

おとづれの時日は、司教同僚の嘆声である

SEMANARIO DE
SÃO PAULO
PROPIETARIO E REDATOR
ROBERTO KOBAYACI
RUA PIATANGA
CAIXA POSTAL 52
SAO PAULO
E. DE SAO PAULO
BRAZIL

新報
前編

各國電報稿

沈沒潛航艇乘組員生存_{吉澤電}
係混中沈沒了潛航艇N-3乗組員全滅
學生原士349期待士53。

海防艦爆發（廿日東京電報）
茨木縣沿海於一海防艦爆發一東組真
總死瀕居了。

支露奧係切迫
（廿日倫敦電報）

●佛陸軍復興（廿二日巴里宣教會）

北米海軍豫算
六二日草書電報

● 露國之工乍首相（其音伯精發）

露宿と申すが何事か企策のありと。本国雜報欄

シングル艦隊とアオストラリヤ労働者
等不atrialの労働者等は新嘉坡英艦隊建議
議を調査し英國政府の実行と承認す。建

八月廿九日飛翼令嘉林
去十九日丁巳子時於政事堂政事堂因之候序雖
是爲三千日間戒嚴令之執行之令中英政府是令下

二月廿日作具の下落
ニラヨル市場通常取引計算仕立て自國貨物貿易今迄
茶葉走る為珈琲相場一千十五六十木ト木下落を貿易
セテ居る。

雍仁親王の御柱學様行
現帝第三王子雍仁親王草深殿御教諭爲著序の事

英國船行隊三此行器は西界通航と企て三會正后倫敦後、サマーランド市を航行器にて北極に向ひ世界一周途に至る。數日前カリオサヌキ出港後改してヨーロッパ航行隊の

日本船衝突沈没(廿二日備註卷之四)

組員十名は救助者心主名は新傳不明由

五三〇の朝會敷市電軍紀某爲同盟罷集会電車停駛了
北米海軍兵士ニラスニ
本ニシテラスニ總ニラバ日本同地
の兵備及軍需品の輸出を重視
之に對し業米海軍隊の輸入を主と
上陸する。本ニシテラスニ半島軍
團が努力を得て各方面の幹部を
來さうあり。

◎ 理想的同仁会	老 人 会 領 指	收 地 帶	△ ア ニ ョ ア 州 (ニ ノ ル)
在伯日參人企斯。曷以 真。待生保健目的。等 之理想的同仁会。下參 了。次。存。有。領。指。 理。想。的。同。仁。企。理。事。長。	老 人 会 領 指	收 地 帶	△ ア ニ ョ ア 州 (ニ ノ ル)
香 藤 紹 銀 事 專務理事	老 人 会 領 指	海 岸 地 帶	森林與溼地帶
高 国 專 太 郎	老 人 会 領 指	米 代 道 地	森林與旱地帶
伊 藤 幸 一	老 人 会 領 指	甘 廬 地 帶	山 五 六 地 帶
理 事	老 人 会 領 指	淮 潺 地 帶	七 五 六 地 帶
上 塚 周 平	老 人 会 領 指	二〇〇 元 一 七 〇 元 七 〇	八 五 六 地 帶
山 田 勉 之 助	老 人 会 領 指	二〇〇 元 一 五 〇 元 七 〇	九 三 六 地 帶
星 名 謙 一 郎	老 人 会 領 指	二〇〇 元 一 五 〇 元 七 〇	十 五 六 地 帶
福 川 薩 戴	老 人 会 領 指	二〇〇 元 一 三 〇 元 七 〇	十一 六 地 帶

中央團會怒了檄令地方
有志之士團力圖飛

一、祝詞 各部幕代議員 二、萬歳三唱 金賞一同
開会
君主陛下正統承継大典 帝者 金鑑御名號也外人小姓 町長公爵也諸侯近臣等 見金
佛國内閣 金賞
伊東不丈之弟 田淵清輝奏表總 子院上於中ノ事アレ此之立 政府の不信任の著又諭旨 立政金
株木貿易百製約
青木木兄弟有之子 ハル駒上等マノノノノ所地主青 木平一兄弟は將軍令郎市つ シノノノサクナム公社と田子 耕水林木木と田子上名主 貴賀賀翁也即ち當將軍木 兄弟仕事等多見意氣 才伯鶴請め射馬日秀 仲井人等吉風流士契約大會 アーテル公等主事也以不不 旨名工工工工工工工工工 狼狽一王ニ至弘財議 帝場了進半之趣充方引抗 議反故ナリ。至了御認 沙汰ナリリ者李九郎今更 元氣引出射止不不不不 田地主不意接之微賴一子打 破木相解契約往直。是日 來之上體也之次此契約双方 之訴訟取引了事。是而兩 者不心滿意有叶見。心既 之考之水不外岸木氏骨 折也脚日後多失失失失 胸之如初。原之始也。
● 南木評論之执行 日向三浦氏昌義之被評 南丹川之被評 南木評 論

の宣傳で新聞語であります。運送は元不リ、船を居たる記有は、宣傳文稿別英雄式りと云ふ事で、平野に運送する事で、中身は天馬の事で、車舟の思想が桂野に運送した事で、日伯の前到へて書寫され、元は桂野の事で、日伯の對側の江鏡山が、桂野の第二号が出了る病院第一号の二回目は、桂野の事で、

右在表正金之建相	月三十一月
綿小河下 第三毛洋高知縣心 次自往之處り下」向 生次「面白」收獲を得 くをもんの、社健々 觀子、財事功うる 立者勤能顯り今 作はる。是が薄引 降りて、當の所の少 ちうどと確ひに 積り手て本年五百アロ トナリ。何勝 得氏才三年アラシ 今年豊り少からず 遼一七百アロ分より と吉の居た由。 船民年は確望ら 限不入料判である。	8.18 17.20 19.12 5.22 4.15 8.

本社より本年一月より貰迄	相場石川
購入社名 周參ヒコトヒ	加納嘉
管轄人名 人子松	不思議
販賣品名 菜農業	青葉
付下シテ 所持者 之と賣 手の種 類	付下シテ 所持者 之と賣 手の種 類
貯見	貯見
豆の値	豆の値
金年六月分 価付面積	志士上體の不思議
年々増加、店も有 る。近年繡花の値が 極めて減少して昨年は 豆一俵賣て三五銭で買 い、今年此頃豆の値 は全く變りません。	西街の其眞裏の 御八番
池田菊田	豆の値
舊時多江有年 僕男の之人君 之與斷人不 僕之處高畠 車日木箱の隔 加男之寫多江 君之有年君之 事事違 入根寬 入根 石氏	志士上體の不思議
主補	豆の値
左書	豆の値
一枝	豆の値

▲ 人事來往

切味

錄用天草硫石密
各種硫石之類

HOTEL JAPONES			NORDESTE
日本旅館	32	83	6m CLUB JAPONEZ E BAR PROMISSAO
館主神山心平 バウル市北西線駅前		靴 革 馬具 帽 カサ サシタニ 大 シマ	BILLIAR
EM BAURU		RUA G. CARVALHO BAURU	日本人民娛樂部 日本民族文化 移本法拉
		LINHA NORDESTE	旅館 大リニア山 北西線アロミナス駅街 青木多嘉藏 平田ケ嘉藏 HOTEL E ARMEDAS PROMISSAO
			木魚 RUA SANTANA DANTAS 53 北西線アロミナス駅街 サンタス 三芳商會 煙草葉子

土地旅館	廣鳴屋旅館	中山旅館	旭旅館	平田旅館	大福旅館	櫻木旅館
聖市三番街 五三	聖市三番街 五三	小川原居士門	聖守二番下街 一〇	中山忠太郎 TEL.C. 4559.	聖守二番下街 一〇 TEL.C. 4102	館主 中川源吉 TEL.C. 5819
館主 上地源造	館主 上地源造	中川原居士門	館主 中山忠太郎 TEL.C. 4559.	館主 中山忠太郎 TEL.C. 4102	館主 中川源吉 TEL.C. 5819	館主 中川源吉 TEL.C. 5819
聖市三番街 五三	聖市三番街 五三	小川原居士門	聖守二番下街 一〇	中山忠太郎 TEL.C. 4559.	聖守二番下街 一〇 TEL.C. 4102	館主 中川源吉 TEL.C. 5819
聖市三番街 五三	聖市三番街 五三	小川原居士門	聖守二番下街 一〇	中山忠太郎 TEL.C. 4559.	聖守二番下街 一〇 TEL.C. 4102	館主 中川源吉 TEL.C. 5819